

ガラスびん品種別出荷動向（2025年）

単位：「数量・重量」⇒「千本・トン」

日本ガラスびん協会

年	月	内訳	薬	ドリンク			化粧	食料・調味料			牛乳	酒類						飲料	合計	
				小塚D	飲料D	ドリンク計		食料	調味料	食調計		一升びん	清酒中小	焼酎	ビール	ウイスキー	他洋雑酒			酒類計
2025年	1月	数量	25,564	79,646	40,969	120,615	3,185	47,014	30,438	77,452	3,324	2,642	25,064	3,895	6,207	7,414	11,556	56,778	23,147	310,065
		重量	2,909	7,215	5,802	13,017	365	7,831	4,639	12,470	588	2,509	7,892	1,477	1,979	3,525	4,259	21,641	5,538	56,528
2月	2月	数量	26,711	107,484	37,687	145,171	3,813	49,422	31,017	80,439	2,394	3,286	24,478	3,805	8,174	8,179	12,706	60,628	26,400	345,556
		重量	2,834	10,329	5,311	15,640	439	8,198	4,806	13,004	314	3,121	7,348	1,507	3,121	3,926	4,670	23,693	6,437	62,361
3月	3月	数量	27,201	141,146	60,167	201,313	4,708	57,598	34,969	92,567	4,809	3,656	32,228	4,200	9,505	8,628	13,355	71,572	28,916	431,086
		重量	3,073	13,427	8,492	21,919	505	9,724	5,763	15,487	850	3,473	9,904	1,684	3,769	4,188	4,669	27,687	7,073	76,594
4月	4月	数量																		
		重量																		
5月	5月	数量																		
		重量																		
6月	6月	数量																		
		重量																		
7月	7月	数量																		
		重量																		
8月	8月	数量																		
		重量																		
9月	9月	数量																		
		重量																		
10月	10月	数量																		
		重量																		
11月	11月	数量																		
		重量																		
12月	12月	数量																		
		重量																		
2025年累計	2025年累計	数量	79,476	328,276	138,823	467,099	11,706	154,034	96,424	250,458	10,527	9,584	81,770	11,900	23,886	24,221	37,617	188,978	78,463	1,086,707
		重量	8,816	30,971	19,605	50,576	1,309	25,753	15,208	40,961	1,752	9,103	25,144	4,668	8,869	11,639	13,598	73,021	19,048	195,483
2025年累計 前年比	2025年累計 前年比	数量	94.8%	103.3%	90.3%	99.1%	88.9%	96.5%	86.2%	92.3%	96.9%	93.8%	100.2%	97.0%	158.2%	98.0%	98.3%	103.7%	90.6%	97.1%
		重量	98.2%	104.4%	89.7%	98.2%	88.6%	96.3%	86.6%	92.5%	102.2%	93.7%	101.7%	94.9%	193.3%	98.6%	95.3%	104.3%	89.9%	98.2%

＜2025年1月～3月の出荷状況について＞

※ 正会員 6 社のみのデータです

- ・ 2025年1月～3月の出荷状況は、重量では195.5千ト（前年比98.2%）、数量では1,087百万本（前年比97.1%）と共に減少となりました。
- ・ 2023年から続く原料の高騰、輸送費・人件費の上昇によるコストアップ分の対策として生活用品への価格転嫁が、消費者の買い控えに繋がり影響を受けました。
- ・ また、一部他容器へのシフトがガラスびんの需要に影響を与えております。
- ・ 今後は、大阪・関西万博開催や訪日客数の増加で需要増に期待したいところですが、米国の相互関税政策の影響が日本経済へどうのように作用するか心配されます。
- ・ 需要と供給のバランスは、透明・茶色・その他色について改善されております。
- ・ 業種別に見ると前年からプラスになったのは4業種（小びんドリンク・牛乳・清酒中小・ビール）で、他の業種は前年割れとなりました。
- ・ 「薬びん」は、半導体関係の需要が若干減少し、対前年98%の出荷量となりました。
- ・ 「小びんドリンクびん」は、前年価格改定による減少の反動増により、対前年104%の出荷量となりました。
- ・ 「食料びん」は、買い控えが長引いており、対前年96%の出荷量となりました。
- ・ 「調味料びん」は、食料びんと同様の傾向で、さらに一部他容器へのシフトも進み、対前年87%の出荷量となりました。
- ・ 「牛乳びん」は、宅配牛乳から撤退する事業者があったものの、既存事業者のリターンナブルびん統廃合による投入増もあり、対前年102%の出荷量となりました。
- ・ 「清酒1.8Lびん」は、流通している回収びんの在庫増や一部中小容量帯へのシフトもあり対前年94%の出荷量となりました。
- ・ 「清酒中小びん」は、海外向けは不調でしたが1.8Lびんからのシフトもあり、対前年102%の出荷量となりました。
- ・ 「ビールびん」は、4月の価格改定前の仮需により、対前年193%の出荷となりました。
- ・ 「焼酎びん」は、市場全体の動きから販売減傾向となり、対前年95%の出荷量となりました。
- ・ 「ウイスキーびん」は、微減で推移し、対前年99%の出荷量となりました。
- ・ 「その他洋雑酒びん」は、既存製品の販売減により、対前年95%の出荷量となりました。
- ・ 「飲料ドリンクびん」は、大型製品の価格改定の影響を受け、対前年90%の出荷量となりました。
- ・ 「飲料びん」は、既存製品の販売減により、対前年90%の出荷量となりました。